

2016 関西高校ボート部応援日記

—紫香部日記—

第二部

さくらおろちレガッタ……2p

NRM……4p

春季大会(百間川レガッタ)……8p

朝日レガッタ……13p

怒涛の5・6月……26p



さくらおろちレガッタ

4月3日、さくらおろち湖で今年も開催。
今年度最初の試合です。春休みの最後を漕ぎます。
風が強く、『沈』するおじさんもいました。
応援団は今年も元気です！



さて、前夜祭。松江の夜はどう

だったのかな？

保護者ならびに OB 保護者の皆様、時間あれば・・・花見を兼ねて応援に来てやって下さい。
(日曜日は雨の予報ですが) 私は・・・(?)で待ってます。あそこですよ、あそこ？！



と、先生は叫んでみたものの参加はOBの西崎君ただ一人でした。保護者の参加は無くて「つまらーん」とぼやいていたとか何とか。



あそこ

2

す

で、試合の結果の方は・・・さっぱり分かりません 笑

後日のブログに結果が簡単に記載されてましたが、どれに誰が乗っていたかは、さっぱり分かりません 笑

森川先生のお言葉

結果は、クォドが4位、ダブルが2位(A)と4位(B)、シングルは1・2・3 Finish (B・C・Aの順、DとEは1コロ敗コロ)でした。人が集まれば必然的に順位が付きます。久しぶりに他校と並べて刺激はあったと思いますが、今の自分がどれくらいの実力か？どんな立ち位置か？が解ったはずです。この結果を真摯に受け止め、さらに努力しなければなりません。もちろん満足してるようでは話になりません。新しい目標を見つけ、さらに進化しなければならぬのです。目標のないところに努力はありません。

続いて、こんな事も記載されてました。

今週末のNRMレガッタバージョンの練習でした。このNRMレガッタ、過日の選抜大会とは別クルーで出漕します。本日を含めて4日しか練習出来ません。が、勝負に言い訳なんてありません。特にクォドクルーは、あの選抜大会において「幻の決勝進出クルー」だったことが証明出来るように、またシングルは6月の全日本Jr.のプレ大会だと思って、レースに臨んで欲しいと思います。NRMレガッタ、戸田在住の先輩たちが沢山、関西クルーを応援に来られます。部員の皆、思いっきり頑張ろう！！

《おまけ》・・・ではありません。本日、クォドBクルーはOFFだったにもかかわらず、新2年生の山田と永島が練習に来ました。実は・・・Bクルーから1名、シングルで5月の朝日レガッタに参加させようかと考えています。今日誰が練習に来るか？彼らの自主性を試していたのです。もう一度言います。いや、何度も言います。「言われた事しかやらない。人と同じ事をしているようでは永遠に勝てません。自覚のない自主性はちゃらんぽらんです。」

クォド・・・C.林と江田、山田、福田、斎藤、永島

ダブル・・・国本、松尾、李、尾上

シングル・・・佐藤、熊谷、角南、中村、長瀬

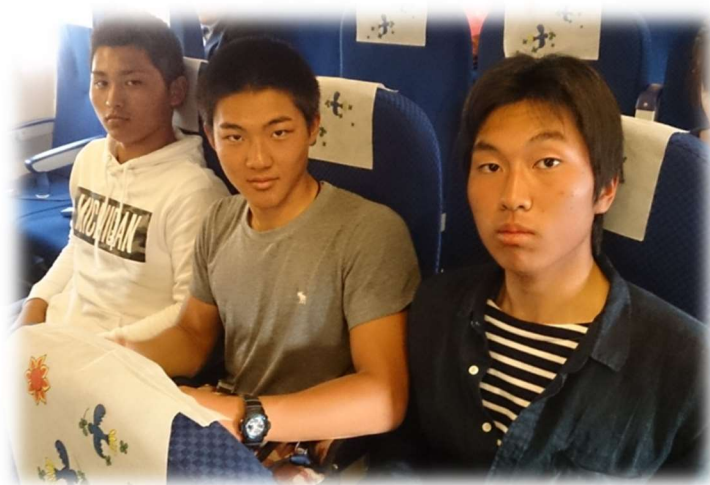
そうか！三大レガッタが週末あるんだ。

NRM (日大・立教・明治、三大学レガッタ)

今年も飛行機に乗る季節がやって来た。そう、初めての飛行機体験する子も多いのだ。関西の掲示板にも機内の様子がUPされた。

戸田には多くの先輩が生活している。差し入れ持って来てくれたり、ご飯に連れて行ってくれたりとサービス満点なのだ。

毎年、明治大学にお世話に成っていたが今年の日大にお邪魔していた。



とっても掃除が行き届いている日大艇庫



観覧席の後ろが戸田公園



借艇がエンパと



森川先生のお言葉

講習、かなり良かったです。例年のような技術的な講習ではなく、心に響くような講演でした。生徒はどう感じたか分かりませんが、私は感動しました。元オリンピック日本代表・浜田美咲（旧姓：熊倉）さんの講演です。北京オリンピックで軽量級ダブルスカルで第9位になるまでの経緯です。（この第9位というのは今の日本ボート界において女子では過去最高位）高校・大学・社会人とどんな挫折があり、どのような努力をしてきたか？そして何を得たかをお話してくれました。

大学の時は「先輩のために勝とう！」という雰囲気が強かった。そういったことで団結力の強さ・勝ちへの執念が生まれ、今の常勝早稲田が生まれた。

日本代表は結果を出さなければならない。出たくても出れない人が沢山いるわけだから結果を出さなければならない。日本代表とはそういうものだ！

ボートはやればやっただけ帰って来る。練習に無駄などない。今以上に成長したければ自分に無いものを取り入れようとする。だから「謙虚」になれ！自分の決めたことは、覚悟を決めてやれ！その覚悟があるか？何を犠牲にしてもやる！やりきれ！！決して嫌なことから逃げない！そして、それを達成した時、苦しみを乗り越えた時、人間的に強くなる。自分に自信が持てるようになる。・・・以上のようなことを自身の経験からお話してくれました。うちの部員に当てはまることがいっぱいありました。同時にスポーツの本当の目的は、「良い人間を創る」ことだと改めて思いました。

クオド2 シングル熊 位！ 谷4位



レーン	クロー	500m	1000m	1500m	2000m	順位
1	南陵高校	1' 45"79	3' 34"73	5' 24"60	7' 14"88	5
2	越ヶ谷高校	1' 39"71	3' 25"80	5' 15"67	7' 01"63	1
3	関西高校	1' 42"57	3' 27"80	5' 16"75	7' 02"38	2
4	本荘高校	1' 39"49	3' 23"61	5' 16"14	7' 05"57	3
5	諏訪清陵高校	1' 47"22	3' 38"31	5' 33"17	7' 24"33	6
6	加茂高校	1' 42"12	3' 29"95	5' 20"68	7' 12"20	4

レーン	クロー	500m	1000m	1500m	2000m	順位
1	加茂高校(吉田)	1' 54"44	3' 52"69	5' 53"14	7' 52"72	1
2	鳥取選抜(久木)	1' 58"15	4' 00"17	6' 00"55	8' 03"74	3
3	立教新座高校(漆原)	2' 05"73	4' 22"70	6' 46"71	9' 08"56	6
4	関西高校(熊谷)	1' 57"78	3' 55"07	6' 01"31	8' 06"09	4
5	南陵高校(渡部)	1' 56"02	4' 02"20	6' 13"14	8' 28"12	5
6	小松明峰高校(道端)	1' 53"23	3' 55"07	5' 55"95	8' 00"20	2



打ち上げがハンパなく豪華なんですよ！！

コックスなんて絞ってたから、ここぞとばかりに肉食いまくりらしいです



森川先生のお言葉

掲示板にあるようにシングル4位、クォドは2位でした。シングル（熊谷）は今の自分の実力が解ったはずですが。今のままでは全日本 Jr.では全く歯が立たないことも……。今回経験した事をただ経験しただけにならずに更なる向上をして欲しいと思います。

クォド（林・齋藤・中村・尾上・角南）は……。コンマ差の2位。先週の「さくらおろち R」が終わってたった4日しか練習してません。まあ、よくやったと思います。が、負けは負け。関西クルーは、他校に比べて一番いい艇に乗っていたはずですが。他校は規格艇（スタンコックス）、関西クルーはエンパのトップコックス艇。もし、これが同じ条件だったらどうだったでしょうか？

前を向い
胸を
はっ
て
後ろに進
め！！



新入部員勧誘

4月13日(水)、毎年ドン引きされる部活紹介！今年も10人は騙してでも誘い込んでよう！！



春季大会

百間川での最初のレース。4月24日に皆さんから頂いた折りたたみ自転車を漕いで土手へ。ウォーミングアップを行う集団が往復している。Tシャツには『SAKASHO』の文字。何処やねん？誰やねん？？大学生じゃないし、高校生だろうけど立派な太もも。

9:12の1×を土手から見る。

2レーン山田頑張って着いて来ていたが徐々に遅れ始める。更にレーンから外れ対岸方向へ曲がって行った。そして、止まる。腹を切ったのだろうか？

5レーン李は応援団の前で頭一つ出してから加速し飛び出し1艇身出たが、疲れが出たのか900辺りで4レーンに抜かれた。このレース一番忙しそうに進んでいたのは審判艇。右へ左へ蛇行運転していた。

山田	4	4'30"00
東商A	3	4'07"04
操山	1	3'57"80
李	2	4'02"84

予選2組は3レーンに熊谷登場。500で既に余裕でトップ750では3艇身差をつけ、更に差を広げていく。前のレースでは伴走しながら大声張り上げてた先生も定位置に座り込んで観ていた。

東商C	2	4'00"41
東商B	4	4'12"77
熊谷	1	3'47"15
岡山Jr.	3	4'11"69

2×まで土手に一人。今日は誰も来ないようだ。テントへどうぞと佐藤母がコーヒーを持って来てくれた。暫くして後ろからお爺ちゃんとお婆ちゃんがやって来た。会話に聞き耳を立てているのだが、二人の会話はかみ合っていない。「関西」の単語が飛び出したが関係者と

は判断できない。おばあちゃんは「関西は強いだよ」おじいちゃんはスタートもゴールもどこか分からない様子。階段を下りておばあちゃんは関西のテントへ向かって行った。中村のおばあちゃんでした。

5 レーンに佐藤と国本が2番目で500を超えた。応援団の目の前で抜き去りトップへ・・・そのままゴール！！

備前緑陽	6	3'50"24
東商A	3	3'39"92
操山	2	3'34"65
坂出商	5	3'46"89
関西	1	3'30"92
東商B	4	3'41"46



土手にいても面白い事も起きそうにないのでテントへ移動する。レースの全貌が見えないが代わりに情報が入って来る。

何に誰が乗ってるのか？から聞き込みする。ここは小さな子がいて賑やかだ。松尾の弟だと聞いた。今日の応援団長は斎藤父。デカメガフォンで遊ぶ松尾弟にレースの時にしてくれれば良いのにと一言。

クオドA・・・C.林、S.斎藤、3.中村、2.尾上、B.角南

クオドB・・・C.江田、S.松尾、3.永島、2.福田、B.長瀬

ダブルの逆！目の前で坂出商業に抜かれてしまった。オールが重たく感じた。

東商B	3	3'25"81
関西A	2	3'22"10
東岡工	4	3'56"44
坂出商	1	3'18"05

Bの試合は、関西よりも緑陽と東商の競り合いに目が行った。中々面白かった。

備前緑陽	1	3'24"98
東商A	2	3'28"00
関西B	3	3'35"65

決勝は午後から、1時間の休憩を予定していたが、ずれ込んでしまった。OBも出ていたので紹介します。シングルで西崎君と浅野君(品川リフラクトリーズ)、ダブルで増成君(品川リフラクトリーズ)が出場していました。シングルはふるいませんでしたが、ダブルは2艇競争のブッチギリでした。

1×B決勝

東商	3	4'47"21
岡山 Jr.	2	4'40"85
山田	1	4'37"49



1×A決勝

李	4	4'38"27
操山	3	4'32"51
熊谷	1	4'10"20
東商C	2	4'25"46
東商A	5	4'49"24

熊谷よりも李が気に成ったよ。ビリになるな！ビリに成るな！！しかし、後半もピッチは目に見えて落ちないまま4着でゴールした。ほっ



2×ポイントレース

操山	2	3'52"59
東商B	4	4'03"19
東商A	3	3'55"80
関西	1	3'48"11
坂出商	5	4'11"96
備前緑陽	6	4'25"28

750で1艇身差。どんどん差をつけゴールし、ガッツポーズ！息子の挨拶を聞いた国本母は「喋れるように成ったんじゃ、ちゃんと文章になってる」と子供の成長に感激していました。

4×+ポイントレース

東岡工	2	4'21"09
関西B	1	4'00"03

コックスの江田はお茶目な性格らしい。校歌の後で変身ポーズをとっていた。

4×+ポイントレース

記録がありません。2着でした。坂出商業には勝てませんでしたが・・・、彼等は他県民なので、優勝は関西ということになります。





森川先生のお言葉

昨日は高島杯百間川レガッタ兼岡山県高校春季大会（中国大会県予選）でした。保護者・関西サポーターの皆様におかれましては熱い応援ありがとうございました。百間川レガッタとしてはクォドが2位（優勝は坂出商業）、ダブルとシングルは1位。春季大会としては全種目優勝という結果でした。ダブル・シングルが勝ったことは嬉しく思いましたが、クォドは・・・?? かなりストレスの残る結果でした。消化不良の感が強いです。

坂出商業に負けて2位、県内のライバル校とはコマ差の辛勝。この結果を選手たちはどう捉えているのだろうか？ おそらく「まあ、このレベルでは勝てるだろう」と完全に相手を舐めていたような気がします。それに彼らは「勝ちへの食欲さ」が無かった。いや、知らない間に無くなっていたと思います。最近の練習を見る限り、昨年の秋のような危機感、今春の選抜前のような勢いを失っていました。春の選抜では目標達成は出来ませんでした、「自分たちも全国で勝負出来る」ということだけに満足していたのではないのでしょうか？ また、3月20日のあの悔しさを忘れていたのかもしれませんが。そう、知らない間に成長が止まっていたのです。

前にも述べましたが、現状に安住した時に人は衰退が始まります。危機感が欠如すると妥協が生まれます。勝負に絶対などありません。常に「どうしたら早くなるか？ これでライバルに勝てるのか？」といった問題意識を持ち、進化をしていかなければなりません。とにかく今回の火傷が、今後の大会へ向けての良い薬になって、更に向上してくれることを望んでいます。

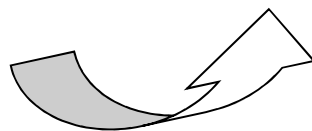
もう一度言います。アホは勝てんでええ～～～！！

森川先生緊急入院！

試合の翌日、点滴5本を打ち手術した。何の病気かは本人からの発表は無かった。翌日には琵琶湖までの運転も待っている状態で病院を脱出する。円座をシートの上に敷いて出発。しかし、恒例の「天下一品」は子供たちだけで食べさせれば良かったんでないかい？ヤバイ気がする。



食から
の



気持ちは分からんでもない
が.....

第 69 回朝日レガッタ

5月1日~4日 琵琶湖漕艇場にて。

今回の朝日レガッタ、例年とは違い、地元瀬田工の艇庫に艇やオールや工具等を置かせてもらっています。艇だけでなく、エルゴ・トイレも使用させてもらっているので心ばかりの差し入れをしました。差し入れは岡山名物「吉備団子」。すると瀬田工の監督の先生は「お前ら、きびだん号に乗って桃太郎さんが差し入れを持って来られた。お前らに吉備団子をやるから家来になれと言うとる。心して食べるように！」と言って部員たちに手渡しました。私は、これにはブッ飛びました。今日で一気に40名ぐらゐの家来が増えました。(笑)

男子シングルスカル

No.	レ	Crew	1000m	Rank	Qualify
5月1日 9:06 予選 2組 2上り	1	佐藤 航(関西 A)	4:07.22	2	→準決勝
	2	永島 海斗(関西 B)	4:33.59	6	
	3	廣瀬 優(大津高校)	4:14.72	5	
	4	久木 隆一郎(米子東高校 A)	3:58.56	1	→準決勝
	5	越智 将司(今治南高等学校)	4:13.76	4	
	6	松田 卓(米子東高校 B)	4:12.76	3	

男子ダブルスカル

No.	レ	Crew	1000m	Rank	Qualify
5月1日 12:05 予選 1組 2上り	1				
	2	彦根東高校	3:48.42	3	
	3	大津高校	4:00.97	5	
	4	松山東高校 C	3:54.13	4	
	5	徳島市立高校	3:40.53	1	→準決勝
	6	関西 A	3:46.90	2	→準決勝

No.	レ	Crew	1000m	Rank	Qualify
5月1日 12:12 予選 2組 2上り	1				
	2	宮津高校B	4:03.14	5	
	3	今治北高校	3:32.14	1	→準決勝
	4	関西B	3:56.32	4	
	5	伏見工業高校	3:33.12	2	→準決勝
	6	桜宮高校	3:34.67	3	

男子クォドルプル

No.	レ	Crew	1000m	Rank	Qualify
5月1日 13:57 予選 3組 2上り	1				
	2	清風高校B	3:46.72	5	
	3	伏見工業高校A	3:38.85	4	
	4	関西高校	3:26.29	1	→準決勝
	5	高石高校	3:27.86	2	→準決勝
	6	徳島市立高校	3:30.40	3	

OBの結果

成年ダブルスカル 品川リフラクトリーズ(増成)・予選1着→準決勝

真夏日です。暑いですが！各Aクルーとクォドは準決勝に駒を進めました。明日は敗者復活、Bクルーには頑張ってもらいたいですね。

森川先生のお言葉

本日のレース、選手たちに指示した内容は・・・「こってり味噌味作戦」でした。先週の日曜日の春季大会を見る限り「あっさり塩味」だったのです。男だったら「こってり味噌味 with ニンニク入り」ぐらいでいかないと。しかし、その作戦もラフコンディションで不発に終わったような気がします。次は「こってり味噌味 with マムシ入り」でいっ तरीます。シングル佐藤は順当に勝ち上がりました。明後日の準決勝は、より進化した ROWINIG を見せてくれるでしょう。(そうだろ?!) ダブル A は、500手前で突然の大波を受けてあわや沈しかけましたが、そこから立て直してよく耐えて2位で Finish。意地で勝ち上がったと思います。クオドは、ラフコンディションの中、500までトップでレースを引っ張っていましたが、500過ぎてから経験したことのないような激しい波となりました。何回波にオールを取られたでしょう? 何回腹切ったでしょう? 2位クルーは波を激しくかぶり、完全に止まってしまいました。オールが折れるクルーまでいました。あれはまるで障害物競争を見ているようでした。で、何とか1位で Finish。この2つのクルーは保護者の皆様の応援が後押ししてくれたのではないかと思います。明日は敗復、ダブル B とシングル永島が出ます。どうか応援波動を送ってやって下さい。

それにしても疲れしました。今日は朝5時に玄関集合。そこから早朝水上練習。6時半に一旦宿舎に戻り、朝食。そして7時半に宿舎を出てず～～～～と外にいました。部員たちはレース時間・昼食以外は部屋でゴロゴロしていたはずですが、私はず～～～～と外にいました。時間差でやってくる選手たちをレースに送り出すためです。昼食もコンビニおにぎり2個ですませました。(今の私の身体にはちょうどよかったのかもしれませんが・・・) が、後から聞くところによるとコース横のロイヤルオークホテルで優雅に? 近江牛丼&焼きそばを食べていた者もいるとか?! うらやましいかぎりです。あ～～～お腹空きましたあああ!!

誰のお屋ご飯やねん?



桃ちゃんフリキーなお

尻

朝日レガッタ 2 日目 敗者復活

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
72 5月2日 8:34 敗復 2組 3上り	1					
	2	水井 庸介(田辺高校)		3:59.63	5	
	3	廣瀬 優(大津高校)		3:53.63	3	→準決勝
	4	横尾 剛士(長崎明誠高校A)		3:44.97	1	→準決勝
	5	永見 康平(桜宮高校A)		3:52.41	2	→準決勝
	6	永島 海斗(関西 B)		3:55.80	4	

シングル永島、彼には「一番苦しいレースをしてこい！ 苦しきから逃げたらあかん！ 300m 先がゴールと思ってブチ当たれ！」と指示してました。 彼はその通りにやってくれました。 スタートから果敢にアタックして250で2位、そこでよそ見をしなければよかったのですが、少しスピードが緩んで500を3位で通過。 その後、後続クルーに差されて4位で Finish。 落選です。 3位クルーとは2秒差、本当に惜しいレースでした。 よく頑張ったと思います。 昨日よりずっといいレースをしてくれました。 が、これをただ惜しかった！、もう少しだった！、悔しい！で終わらせてはいけません。 この2秒、何が足りなかったのか？ どうすればいいのか？を自身で心から考えなければなりません。 とにかく今だけの悔しさに終わらせてはいけません。 これをバネに何処まで進化するか？ It's up to you. です。

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
101 5月2日 12:04 敗復 5組 3上り	1	松山東高校 D		4:03.85	5	
	2	膳所高校 B		3:39.17	1	→準決勝
	3	関西 B		3:44.49	2	→準決勝
	4	松山東高校 C		3:44.54	3	→準決勝
	5	長崎明誠高校 B		3:44.71	4	
	6	小松高校 C		4:06.80	6	

ハラハラ・・・ドキドキ・・・しました。 良いレースで・・・はありません。 グダグダのレースでした。 涙風にやられたわけではありません。 彼らが勝手に無茶になっていたのです。 まあ、何とか準決勝に上がったのはよかったのですが、これでは・・・?! もっと基本を大切に、平日頃から問題意識を持って練習に取り組んでいてもらいたいです。 今回のレース、0.3秒の間に3クルー(2位~4位)が流れ込みました。 関西クルーは2位と判定されましたが、「0.3秒」一体何センチの差でしょうか？ もう1ストローク遅かったら・・・?! たまたま勝っただけです。 これは、保護者の熱い応援が、そして琵琶湖の神様が、彼らに「お前ら、こんなところで終わったらあかん！ もう一度やってみろ！

明日も頑張れ！」とチャンスをくれたのだと思います。

OBの結果
龍谷大学 8+(小野田・大倉)・・・予選 2 着→準決勝



朝日レガッタ 3 日目

岡山から琵琶湖に向けて 7 時に出発予定だった。多少ずれ込んだが、コーヒーとサンドイッチと共に運転手付きのマイカーで出発する。いつもと違うのは連休のど真ん中ではなくGW後半初日だと言う事だった。当然渋滞につかまる。捕まるのが早く、そして長かった。



保護者は八坂さんへ祈願！

車から飛び出しゴール付近へダッシュしたものの、ダブルスカルは終了。次のレースの女子が 500mを通過中だった。あーあ！気を取り直して掲示板で本日の結果を見て、昼ご飯にする。ああああああ

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
129	1					
	2	高橋 俊行(今治南高等学校)		4:15.21	4	
	3	佐藤 航(関西 A)		4:07.65	3	
	4	遠山 秀雄(伏見工業高校 A)		3:57.67	1	→決勝
	5	伊藤 凱理(黒沢尻工業高校)		4:05.54	2	
	6	廣瀬 優(大津高校)		4:25.70	5	
5月3日	8:46	準決	3組	1上り		

佐藤には「食らいつけ！」と指示してました。レースでは素晴らしいスタートを見せてくれました。250でトップ、500で2位、そこからスピードが緩み、後続に差されて3位でFinish。今春の選抜大会2位選手と並べたわけですが、春より成長した内容を見せてくれました。ただ・・・後半の粘りが課題となりました。もっと大好きな？エルゴで自身を磨いていかなければなりません。バテた時がピンチでもあり、勝負所です。

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
149 5月3日 11:19 準決 4組 1上り	1	高知工業高校		4:00.54	5	
	2	東京選抜 A		3:49.28	1	→決勝
	3	東京選抜 B		3:50.29	2	
	4	関西 A		3:52.32	4	
	5	長崎明誠高校 A		3:52.14	3	
	6	和歌山北高校 C		4:14.51	6	

ダブル A、勝ったら「アイスクリーム奢っちゃうる！」と言ってたんですが・・・残念でした。（隠れてアイス食べとったらあかんでえええ！ なあ、〇〇君?!） まあ、今回の大会を通じて少しは「勝ち方」を覚えたのではないのでしょうか？ 同時に自分たちも「やれば出来る」ということも実感したはずです。また、勝たないと意味がない、勝たないと面白くない！ということも感じたはずです。そうした事で常日頃からゴイゴイ練習して勝ちに繋げて欲しいと思います。楽したら勝てません！



OB の結果
品川リフラクトリーズ 2×(増成)・・・準決勝
龍谷大学 8+(小野田・大倉)・・・準決勝

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify
151	1	関西 B		3:59.42	4	
	2	桜宮高校		3:43.15	1	→決勝
	5月3日	3	東舞鶴高校 A		3:44.86	2
	11:33	4	松江高専		3:51.30	3
	準決	5	東舞鶴高校 C		4:28.53	6
	6組	6	松山東高校 B		4:03.36	5
1上り						

ダブルB、一昨日・昨日よりも much better な Rowinig をしましたが、もっとスキルアップ、そして何よりもメンタルの向上をしなければなりません。メンタル弱過ぎです！勝負する前から負けていたような感があります。どんなスポーツでも最後に勝負を決めるのは「心」です。心は弱ければどんなに体格や能力が優れていても永遠に勝つことはありません。

No.	レ	Crew	500m	1000m	Rank	Qualify	
163	1						
	2	桜宮高校		3:38.54	2	→決勝	
	5月3日	3	関西高校		3:34.39	1	→決勝
	13:13	4	瀬田工業高校		3:51.96	5	
	準決	5	松江高専 A		3:47.18	4	
	2組	6	松山東高校 A		3:42.52	3	
2上り							

クオド、今大会を通じて今日やっと彼らしい Rowinig を見せてくれました。一昨日は障害物競争になってしまったので本来の彼らの Rowinig が出来てよかったです。見事に決勝進出を決めてくれました。明日の決勝、「敢為の精神」を見せると同時に思いっきりチャレンジしてくれる事を望みます。Challenge makes Champion.

いつの時代も新しい道を切り開いていく勇氣と実行力をわすれてはいけない。自己の選んだ道は、どんなに逆境にも耐え、必ずや成し遂げる胸の奥に潜む敢為の精神。それは・・・関西ですから！！



朝日レガッタ 4 日目

昨日の夕方から降り出した雨はすっかり上がって気持ち良い日差しが窓から入っていた。よし！！決戦の時だ！！

しーかーしー・・・・風邪が強くて、1時間の待ちができた。ありゃりゃ。時間潰しにマックへ避難。考える事は皆同じ。後から後から入って来て行列ができる。席を確保してホッとすると何やら賑やかな一団が。。背中にデカデカと学校名が書かれたジャージを着用。時代の流れを感じる。

11時過ぎに再び会場へ戻って耳にしたアナウンスは、さらなる1時間の遅れだった。どう

する??今度はコメダ??コーヒーでタツプンタツプンだぞ。

応援団席で待つことにした。朝から18年度の増成夫妻や19年度の草地夫妻と出会った。後援会会長は「決勝に残っていると分かって急ぎょ行く事にしたんですよ」と笑う。その後もポロポロと決勝の応援に駆けつけてきたOB保護者が姿を現していたが、レースまでそれぞれがそれぞれに時間を潰した。



No.	レ	Crew	500m	Rank	Qualify
185	1	膳所高校 B	2:02.16	6	
	2	桜宮高校	1:57.74	4	
	3	関西高校	1:58.72	5	
	4	今治西高校	1:53.84	2	
	5	東京選抜	1:52.84	1	
	6	高島高校	1:57.37	3	

500m勝負はスタートからゴールまでの駆け引きなど無い。全力で漕ぎ続け、何か1つでもミスると致命傷になる。しかも、勿論クイックスタートだ。通常の500のラインからのスタートは応援団の目の前がレース半ばの位置となる。トップ通過して行くのを見届けた。そのままゴールするのを期待しながら声援を送り続ける。しかし、急に艇が止まる・・・オールがもがく、その後数回漕いでゴールした。

森川先生のお言葉

本日、決勝。高校男子クォドルプル、第5位で終わりました。忙しい中、遠路滋賀まで応援に駆けつけて頂きありがとうございました。皆様の期待に応えられなくて申し訳なく思います。

今回の負け、うちの選手たちはどう感じたでしょうか？ 負けることは強くなるための大事な要素です。過去「日本一」になった先輩たちは負けを勝ちに活かしてきました。自分の弱さや甘さを認めて、何をしなければいけないかを発見する。(一番タチの悪いのは自身の弱さ・甘さを認めようとしめないアホですが・・・) 勝って得られるのは自信だけです。もちろんその自信も大切だし、モチベーションにもなります。しかし、強くなるためには「負け」とどこまで真剣に向き合えるか？ 勝負所で「勝つ」ためには、負けて何を感じるかの方がはるかに大切になります。次こそは・・・??

もう日が暮れる。今来た道に帰れない。

腹切りをして、結局何位に成ったのかも分からないまま、どうしようかと立ち去り難く立っていると現役部員が現れたので聞いてみた。

「ゴール手前50mで腹を切りました。」

「それまではトップだったの？」

「はい。」

「どれくらいリードしてたの？」

「トップボール知ってますか？」

「分かりますよ。(・・・しらいでか！今はバウボールって名称に成ってるわ！)」

「トップボール4個分リードしてました」

う~ん、分かったような微妙な距離だ。2年生が頑張ってくれているのだから責められない。
乗り越えるしかない。



投稿順にコピーしてみました

2年の熊谷です。

今回の大会では、横風が強く波も激しくミスをしてしまい、一瞬艇が止まってしまい、5位に終わりました。選抜に続き、また1つ成長する事が出来ました。

インターハイ、国体では、最後まで自分たちの、漕ぎが出来るようにしていきます。

2年の永島です！

自分はシングルで出ましたがいい成績を残す事ができませんでした。でも、これからの自分の課題が見つかりその課題をどうやって自分の物にするかを練習でやって行きたいと思います。

2年の中村魁真です

今日で朝日レガッタが終わりました。結果は5位でした。メダルがとれたのにゴール付近で自分がミスをしたせいで負けてしまいました。たくさんの方が応援してくれたのに自分がミスをしたためにその応援に応えられませんでした。情けなくて仕方がありませんでした。

先生に生き方を変えなさいと言われました。自分の意識や行動や言動、1つ1つ良い方へ変えていって、もっと自分に厳しくして、絶対にインハイでこのミスの落とし前をつけます

三年の佐藤です。

朝日レガッタが終わって今、岡山に帰っています。自分はシングルスカルで出場させてもらい、準のですが、選抜で負けた相手に予選と準決勝どちらもぶっちぎられて相手にされませんでした。レースは負けましたが自分では進化あるレースができたと思います。また琵琶湖に行くことがあるかもしれませんが自分は琵琶湖で1度も一位でゴールすることができませんでした。去年負けて先輩と泣きながら約束したことも守れなかったので、帰ってしっかり練習して次のレースに繋げていきます！

決勝で敗退しました。目標は決勝に行くことだった

2年の角南です。

今日は多くの方々が応援に来てくださって、本当にありがとうございました。しかし、皆様の期待に応える事が出来ませんでした。結果は5位に終わってしまったんですが、それでも今回のレースはとても激しくて本当に強いクルーは技術面でもしっかりしてて自分達にはそれや、それ以外にもまだまだ課題が沢山あるのでそこを直してインターハイでは、必ず勝ち取って見せます！

本当にすいませんでした。次こそは必ずやります！

三年の齊藤です。

今日は朝日レガッタの決勝がありました。前回は決勝で負けてしまい、今回は絶対に勝つと思ってやって行きました。

先生から勝とう勝とうとすると言われていましたが、頭のなかでは勝ちたいという気持ちが先にきてしまっていました。

レースでは、最初の辺りで自分が腹切り、最後の方にまた腹切ってしまいました。結果は5位とまた負けてしまいました。

今回応援してくださった方本当にありがとうございました。次の試合では期待に応えられる試合をしていきます。

OBの結果

成年ダブルスカル 品川リフラクトリーズ(増成)・・・3位



会場を後にして、ちょっと寄り道をし、栗東から高速に乗った。負け試合の帰りはいつも

もドツと疲れが出る。保護者もそうだろう。幸い運転手がいるので別の話題を探しながら言葉少なに窓から入る心地よい風に吹かれる。三木で軽く休憩をとり再び出発する。権現湖辺りで前方に艇を積んだマイクロバスがいるよと声を掛けられた。同じバスが多いから近づかないと分からない。ジーンとバスのお尻を凝視した。『桃のマーク』だ！！間違いない、鬼火弾号だ！！走行車線を重たい荷物を積んで一所懸命進んでいる。追い越し車線から見上げると子供たちが楽しそうに騒いでいる。思わず車の中から手を振ってみた。追い越しざま運転席も覗いてみる。先生が真面目な顔をして必死にハンドルを握っていた。表彰式に出ないから思ったより早く出発したのだろう。直ぐにバスは後方に消えた。暫く進むと今度は愛媛ナ

ンバーをつけた艇を満載したトラックを追い抜いた。「今治かなあ」と想像しながら。道路表示にさっき瀬戸大橋二輪通行禁止と出ていた。かなりの強風なんだろうな。

携帯が着信音を響かせた。最近電話はロクな話じゃないから気分は更に落ち込んで行く（義母を介護中）。スマホカバーを開くと『森川将軍』の文字が目飛び込んだ。運転中だろうに何で??慌てて受信にタッチする。元気よく

「お疲れ様でしたー！」

と出た。ご丁寧な感謝の言葉と結果についてのお話をされた。結論は『神様が、まだ勝つには早いと判断したのだろう』と言う事に落ち着き

「楽しみは次にとっておきましょう」

で締めくくった。どうして、追い越したのが分かったんだろうか?子供たちが「誰か手を振ってましたよ」と言ったとしても誰だか分からないだろう。

白鳥で運転手が電話を1本掛けている隙にまた抜かされていた。今度はこっそり抜き返して備前で高速を降りた。さあ、次だ!! 細かい試合もインハイもこれからだ。



怒涛の5・6月

一年で一番忙しい季節。朝日レガッタに始まる。5月7・8日は県の強化合宿だったらしい。

保護者会

5月14日(土)、毎年恒例、春の保護者会。今年はOB保護者のお話は無く、国体6連覇についてのPVを見て貰ったようです。どんな感想を持たれたんでしょうね。華々しく取り上げられていますが、迫って来るプレッシャーに迷いながら傷つきながら頑張ってきた姿がどう映ったのでしょうか。あの感動を味わっていただきたいと思っている人は大勢いますよ。あの頃と違うのは、先生が年を取ったくらいかな？笑

高校総体岡山県予選

つまり、インハイ出場決定戦。ここで勝てばインターハイ出場が決まる。今年は「さくらおろち湖」で開催されるが、出来るのかなあ？水が無くて過去2回場所変更になったし、近くに何にもないから宿泊施設って何処に成るんだろう？？去年の予選は私の前足が真っ赤になるほどの日差しだったが今年は肌寒い。上着を持って来れば良かったと思う。どんよりとした曇りで風もあるし途中ポツポツと小雨も降った。5月29日の日曜日。

1×予選

東商B (有松)	2	4	'00	"13
東商C (妹尾)	5	4	'19	"41
備前緑陽A (武用)	3	4	'06	"05
関西A (佐藤)	1	3	'53	"13
ジュニア (熊谷)	4	4	'13	"38

ジュニアは熊谷の弟君。佐藤は危なげなく予選クリア

備前緑陽B (大取)	2	3	'59	"74
関西B (永島)	5	4	'13	"33
操山 (高尾)	1	3	'59	"51
東商A (赤木)	4	4	'09	"30
関西C (山田)	3	4	'00	"95

2×予選

関西A	1	3	'32	"14	(S 松尾 B 国本)
操山	2	3	'38	"74	
東商B	3	3	'48	"60	

国本の漕艇技術が良いと耳に入って来た。何故か行けそうな気がしてきた。

4×+決勝

東岡工	5	4	'02	"04
東商A	1	3	'14	"71
関西	2	3	'15	"36 (C 林 S 斎藤 3 中村 2 熊谷 B 角南)
備前緑陽	4	3	'34	"97
東商B	3	3	'22	"36

東商Aとの一騎打ち！先に東商Aがスパートをかける。続いて関西も一??の割にピッチが上がらない。コンマ差で負ける。東商Aの雄叫びが響いた。

土手に来ていた OB 保護者はクオドだけ見に来ていた。そして、早々に引き揚げて行った。あー、また〇〇ポンが威張り散らすんだろなあ

クオドの敗戦でガックリしながらも、シングル・ダブルの決勝まで時間があるからタイムを見に行った。艇を運んでいる東商の女の子が声を誰かに掛けた。誰に??辺りを見回したが、誰も心当たりが無いようだ。アッ！！私だ！！じ——と顔を見る。近所の女の子。パン屋さんで知り合った子だ。東商に合格したと嬉しそうにパン屋のおじさんと会話していた。その話に割り込んで

「ボート良いよう。部活するならボート」

「入るつもりなんです！！」

えっ！！??それからボートの楽しい事ばかりを吹き込んだ記憶がある。最近は部活が忙しいのだからパン屋で出くわす事は無くなっていたのだが、おばちゃんは嬉しいよううう。今日はサポートで参加している。まだ1年生だものね。あつ、名前知らないわ！聞いとけば良かった。。

森川先生を見かけるが、声が掛けられないよう！山地父とお話ししている側をそうっと通った。

1×決勝

備前緑陽 (大取)	5	4	'03	"74
関西 A (佐藤)	1	3	'47	"15
操山 (高尾)	3	3	'58	"40
東商 B (有松)	2	3	'48	"02
関西 C (山田)	4	3	'58	"62

佐藤は3年に成って勝利経験が無かった。ここが踏ん張りどころだ。シングルを漕ぐと自ら決断していた。上位2艇の争いはゴール直後佐藤が手を挙げたものの、判定が出るまで時間が掛った。挨拶に来た時もまだ出ておらず、「あめでとう」と声を掛けられない状態でした。

2×決勝

操山	・	・	・	・	・	・	・	・	1	3	'	23	"	37	
関西A	・	・	・	・	・	・	・	・	2	3	'	24	"	03	(S 松尾 B 国本)
備前緑陽	・	・	・	・	・	・	・	・	3	3	'	24	"	57	
東商A	・	・	・	・	・	・	・	・	4	3	'	37	"	66	
関西B	・	・	・	・	・	・	・	・	5	3	'	52	"	09	

今日1番の面白い試合と言わしめた試合。上位3艇のデッドヒートが繰り広げられた。

「誰だ?」「どこだ?」オールは同時に止まり、ガッツポーズも無かった。後に聞いた話では、備前の服部先生は茫然とゴール付近で佇んでいたと言う。2年連続の『奇跡』は目の前で消え去った。翌日の山陽新聞の記事を机の前に貼り、次こそはと闘志を燃やしているらしい。新聞・私は開く事も無く、そのまま古新聞の山に埋めてやりましたよ!!

一方、関西クルーには健闘を讃える声が多く聞かれた。



佐藤

と山

森川先生のお言葉

結果は周知のとおり。クオド・ダブルはコンマ差で敗れ、インハイ出場権を逸してしまいました。シングル(佐藤)のみがインハイ出場となりました。これでクオド~~田~~2年連続でインターハイ不出場となりました。なぜなのか??

クオド・ダブル共にコンマ差の2位でしたが・・・負け方が全然違っていました。ダブルは、私が彼らに授けた〇秘作戦を忠実に守ってくれました。決勝レース、500まで関西・緑陽・操山の3艇がピタッと並び、600過ぎから関西が半艇身出ました。そのまま行くかと思いきや操山にゴール手前950で差されて2位で**Finish**。あれだけ弱かった彼らが本当によく頑張りました。彼らは相当悔しかったのでしょうか。二人とも号泣していました。陸に上がってきた彼らに対して私は誉めてやりました。「お前らよく頑張った! 感動したわあ! 今流した涙は、今まで頑張った証や。次の国体県予選で勝ったらええがな。」

クオドは、スタートから飛び出て他艇より一艇身ほどリード。が、500で東商クルーに並ばれてそこから一騎討ち。そして600過ぎでキャンバス差出られてしまいました。そこからこちらが仕掛けるも一向に差が縮まらず(反対に東商の方がギアが上がりました)、そのままゴール。ゴール直後、彼らはどう思ったのでしょうか? おそらくその瞬間が信じられなかったのではないのでしょうか?! 私はこのコンマ差の敗北はメンタルの差だと思いました。東商の勝利に対する執念・気迫がうちより勝っていたこと。またレース中に並ばれ

て、そして出られて（背中を見られて）しまうことで、自分を見失い、魂を抜かれたように見えました。そう、最後に勝負を決めるのは「心」です。キャラクターが服を着て勝負しているのです。もっとメンタルの向上、具体的に言えば男として最も大切な「負けん気」を改善していかなければなりません。

もう一度言います。「お前ら、こんなもんじゃないんだろ?! 可能性を秘めたままで終わったらあかん! 諦めたらそこで試合終了や。その時点で男も下げる! とにかく・・・勝って終われ!!」

負けた理由はここにあった!!

前日の土曜日はいつものように参加校の選手・顧問による大会準備。私は早朝より部員二人と作業船に乗って、泥まみれになってコースブイや発艇台・見通し板等の設置をしていました。河川敷ではウインチの取り付けやゴミ拾い、艇庫周辺では使用艇の整備や審判艇の輸送をしている高校生がいました。そんな中、うちの部員の何人かが、他の高校生が仕事をしているにもかかわらず、艇庫裏で隠れて弁当を食べていたのです。そこを他校の先生に目撃され、激しく注意されました。ありえません!(中略)

彼らは陸上作業ゆえにあまり仕事がなかったとはいえ、なぜ自分で仕事を見つけて行動しなかったのか? 他の人が自分たちの大会のために準備作業をしてくれているにもかかわらず、涼しい顔してサボる・・・ありえません!! 彼らには人に対する思いやり・感謝というものがないのか? 見つからなかったら何をやってもいいのか? このようならしない事をしているチームを誰が応援してくれるのでしょうか?! 誰も応援したいとは思いません! これこそアホは勝てないのです。そう、その時点で私たちから勝利の女神 or 運が逃げていったのかもしれない。

森川ブログより

余談

今日の審判艇に女性の姿がみられた。主審を務めていたのは東商のOBだそうです。社会人に成っても、お母さんに成ってもボートに係わっている。素晴らしい事ですね。安田君はスタート地点にいたようです。



今年もシングルは勝ったとは言え、帰宅して、ため息をつきながらパソコンを開くと、そこには信じがたい物が目に飛び込んできた。

戸田で行われていた全日本軽量級の試合で高校生が優勝していた。

都立小松川高校の **S** 中川大誠選手と都立青井高校の **B** 江畑凜斉選手の混成チーム。高校男子の優勝は大会史上初の快挙だそうです。予選トップタイムで決勝に挑み、明治安田生命、今治造船、香港リオ五輪代表に水をあけてゴール。

そして、OB 龍谷大の小野田君も優勝していた。9月のアジアボート選手権への切符を貰えるんだって！！日大に行った古米君も U-23 でどっか行ってたな。

【やってみな、わからんやろ!!!~男子舵手なしクォドルプル~】

勝利と敗北は、どこかで分かれていかなければならない。いつか、そういう瞬間が来る。山際はそう言った。

予選レースを終え、全体トップタイムの明治大学と約7秒差の2位に龍谷大学はいた。連覇を狙う明治大学は、昨年の優勝経験者をはじめ世界 Jr.日本代表経験者を擁した布陣である。高校時代、自分達が勝てなかった選手達が集まっている相手。それが明治大学だった。

この時点で”そういう瞬間”が訪れたとしても、そのことを責めることはできないだろう。頂に近づくほどに、あと「1秒」「1m」の重みを、過去に敗れた記憶を、選手達は身体で理解しているのだから。

しかし決勝レース前に、”そういう瞬間”は龍谷の選手達に訪れなかった。むしろ「この4人で、明治大学と直接レースして負けた経験はないので…やってみないと分からないですよ」と北村(法2)はいつもの表情で笑った。

決勝スタート前。クルーリーダーの小野田(社3)から「自分達の最高を出そう。そうすれば金メダルに届くし、そういった練習をしてきただろ？」その言葉に安心する橋本(法)川端(社)の一回生コンビ。予選タイムで負けている相手との決勝レース前のやりとりである。この4人には、どんな状況でも自分達を信じきる強さがある。

決勝はスタート 500m で飛び出した龍谷大学が、まわりの猛追を許さずそのままゴール。男子としては、同大会での初優勝を飾り、日本一達成となった。

“そういう瞬間”は決勝レース 500m 地点で訪れた。

しかし彼らの成功から本当に学ぶべきは「レース前に”そういう瞬間”を自らつくりたい」という点ではないだろうか。そのためには、どんな状況でも自分を信じられる強さと、それを支えるものが必要だ。

そのこと難しく考えて構える必要はない。

なぜなら、彼らも他のボート部員、他部の選手達と同じように龍谷大学で学び、瀬田川で練習しているのだから。



中国大会 in 豊田湖

6月4・5日に開かれた。掲示板から誰が何に出るのか拾ってみた。

1× 李

2× 佐藤・国本

4×+ 林・中村・永島・尾上

松尾も熊谷も何に乗るのかな？・・・

そして、予選結果 午前中に試合は終わってなのに午後6時前に投稿

本日の結果です。

M2× 予選一位通過

M1× 予選一位通過

M4×+ 敗者復活戦一位通過

明日の準決勝へ進みます。引き続き応援よろしくお願いします。

M1× 敗者復活戦二位通過

明日の準決勝はありません。応援ありがとうございました。

シングル1つは、敗者復活の2位では復活しません。

どこと試合したんでしょうかねえ。思い出は胸の中に。

森川先生から父兄に、『せっちゃん』のいなり寿司の差し入れを頂きました。
とても美味しかったです。



バナナがダメ？

ヨーグルト食べられないの？

漬物嫌いなんだ！

ご飯1杯で足りる??

お昼までお腹もつのかな??

・・・こんな部員がいるそうです。





朝はお散歩に始まり、朝食を頂きます。雨は上がったようです。今日は準決勝・決勝のレースがあります。



M1X 準決 1組

- | | |
|------------------|--------------|
| ①位 熊谷 亮哉(関西高校) | タイム: 3:41.87 |
| ②位 大村 輪(西市高校) | タイム: 3:49.27 |
| 3位 太田 龍(宮島工業高校) | タイム: 3:52.36 |
| 4位 栗栖 寛和(広島皆実高校) | タイム: 3:52.62 |
| 5位 高尾 哲平(岡山操山高校) | タイム: 3:57.83 |



M2×

M4×+

ともに、午後からの決勝に進出です。

(1×はまともな速報で喜んでけど・・・)

決勝

M2× 3位

M4×+ 2位

だそうな。

1×はどうなったの
かな??

追加入りました

M1×2位!!



森川先生のお言葉

結果は、クオッドが2位、ダブルが3位、シングル（熊谷）が2位でした。どの種目も準決勝を勝ち上がり、決勝まで駒を進めましたが、いずれも優勝まで届きませんでした。もし、大会に総合優勝というものがあれば、うちがそうであったかもしれません。（まあ、そんなものはありませんがね。笑）

やっぱり勝たないと面白くありません。どんな勝負事もそうだと思いますが、勝つから面白い！楽しい！のです。そうしたことでより一層練習を積み、更に成長・進化していくのです。だから「勝たないと意味がない」のです。選手たちはゴール後、目の前で優勝クルーを見て、雄叫びを聞かされ、何を感じたかは解りませんが、今の私のようにボツ〜〜〜としていたら知らない間に置いていかれるのです。だから、もっと・・・もっと・・・日々進化していかなければなりません。そのために自身は謙虚に素直にならないといけません。昔、このブログで書きました。確か国体4連覇目の時だったと思います。「強くなるためには自分が素直でなければならない」と。

高藤父さん写真有難う！
運転お疲れ様でした！

さて、ここでOBの活躍を紹介しておこう

何と！何と!! 古米君(日大3年)がアムステルダム(オランダ)にてLand Bekerで優勝していた!! 出場選手は今年8月にU23世界選手権(ロッテルダム・オランダ)の出場を控えるメダルポテンシャルアスリートたち。



日ボで出発前に紹介された写真です





シニアクラゴッ

先輩に負けるな！！

第三部に続

く